

## 編集後記

編集委員会が交代になり5巻2号より伊藤先生を委員長にあらたな体制で出発することになりました。交代の決ったのが三月頃かと思いますが、本号が発行の頃は盛夏になり数ヶ月が瞬く間に過ぎたような気持ちです。編集委員の一人として微力ながら頑張っていたと思います。  
(名和 橙黄雄)

編集委員を仰せつかってこれは大変なことだと思っていましたが、現在まで2度の編集会議に出席したことと、投稿論文に目を通した位で、あまり役に立っているようでもありません。今まで、自分の仕事から離れた距離にある論文にはまず目を通す機会がありませんでしたが、お陰様で幾編かを読ませていただきました。学問の世界では仕事の内容が活字となって始めて人の評価を受けることとなりますが、頁を練った時の印象は全て編集者の責に負う所であるようです。新参者にとってはこれからは色々と勉強の場とっております。お気付きの点については、何なりとお教え願います。  
(亀谷 哲也)

本年4月1日、岩手歯学会新規約による役員改選があり、会長に藤岡歯学部長が再選されました。巻頭言

に会長のご挨拶をいただき、学会の今後の方針とその重大さを述べられました。本会でも新規約ののっとり、新しく編集委員が選出されました。新委員は名和教授(口腔解剖学第Ⅱ講座)、田中教授(歯科補綴学第Ⅰ講座)、亀谷助教授(歯科矯正学講座)、伊藤教授(歯科薬理学講座)です。中でも伊藤が編集幹事に選ばれ、その任の重大さを痛感しております。今後とも宜しくお願い申し上げます。なお、この4名で4月以来、新編集委員会を組織して活動を進めて参りました。

本誌5巻2号は新編集委員による発刊で、原著6編をもって編集いたしました。積極的にご投稿下された著者の方々に感謝いたします。

本会誌は投稿のご案内にありますように、歯学全般の各領域からの学術の相互理解を第一義に考えています。本誌編集委員会では各領域でご活躍されている会員からのご投稿をお待ちしていますが、前むきに会員各位の期待を先き取りした内容の編集も企画しているとうと、はりきっています。

うっとりしい梅雨も間もなくあけ、猛夏がやってきました。会員の皆様様の御健康を切にお祈り申し上げます。  
(55. 7. 8 伊藤 忠信)

### 次号誌(第5巻3号)について

投稿締切 昭和55年9月15日

発行予定日 昭和55年11月15日

本号誌115頁の投稿の手引きに従ってご執筆下さい。所定の原稿用紙は学会事務局(歯学部A棟4階歯学部長室副室)に備えてありますのでお申し出下さい。

岩手医科大学歯学会編集委員会